

養 護 教 諭

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1** ～大問 **4** については、マーク式解答用紙に、大問 **5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1** ～大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

I 第4期教育振興基本計画、各種法令、健康診断、健康相談について、次の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 第4期教育振興基本計画(令和5年6月16日閣議決定)に示されている内容について、空欄A～Eに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

目標3 健やかな体の育成、スポーツを通じた豊かな心身の育成

生涯にわたって運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成するとともに、 や学校保健の推進等により、心身の健康の増進と を図る。

【基本施策】

○学校保健、学校給食・食育の充実

- ・子供たちが を通じて心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成することを目指し、また、肥満・痩身、アレルギー疾患、感染症、メンタルヘルスの問題など、複雑化・多様化する子供たちの現代的な健康課題に対応するため、がんや薬物乱用防止、心の健康、食に関する指導など、 に基づき、体育科・保健体育科や特別活動をはじめ、学校教育活動全体を通じた体系的な保健教育を充実するとともに、養護教諭・学級担任・栄養教諭・学校医等が行う健康相談及び保健指導、保健管理、保健組織活動等の取組を推進するなどの学校保健、学校給食・食育の充実を図る。
- ・学校保健の中核的な役割を担う養護教諭をはじめとする教職員の資質能力の向上を図るとともに、 を効果的に活用するなどして、学校医・学校歯科医・学校薬剤師等との連携による学校保健の推進を図る。さらに、関係府省が連携し、学校・教育委員会、首長部局、医師会、歯科医師会、薬剤師会、学校保健会、地域の医療・保健機関等との連携体制の充実を促す。

	A	B	C	D	E
1	生活習慣の確立	体力の向上	生涯	学習指導要領	学校保健委員会
2	定期的な運動	疾病の予防	学校生活	学校教育法	健康診断結果
3	定期的な運動	体力の向上	学校生活	学習指導要領	健康診断結果
4	生活習慣の確立	体力の向上	学校生活	学習指導要領	健康診断結果
5	生活習慣の確立	疾病の予防	生涯	学校教育法	学校保健委員会

(2) 学校保健安全法（平成28年4月1日施行）、学校保健安全法施行規則（令和5年5月8日施行）、公益財団法人日本学校保健会冊子「児童生徒等の健康診断マニュアル（平成27年度改訂）」（平成27年8月）、公益財団法人日本学校保健会冊子「学校心臓検診の実際 スクリーニングから管理まで 令和2年度改訂」（令和3年3月）に示されている内容について、次のア～オの問いに答えよ。

ア. 学校における健康診断の変遷について、各文に示された内容を実施された年月が古い順に並べた場合、その並べ方として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 2

- A 「学校保健法等の一部を改正する法律」が根本的に改正され、「学校保健安全法」と改名された。
- B 学校における結核の有無の検査において、小・中学校各第1学年のツベルクリン反応検査が廃止された。
- C 色覚の検査が必須項目から削除された。
- D 座高が必須項目から削除された。
- E 結核対策委員会を設置しなくとも、学校医が直接精密検査を指示することができることとされた。

	古 				新
1	B	C	A	D	E
2	C	A	B	E	D
3	C	B	A	E	D
4	A	B	D	C	E
5	C	E	B	A	D

イ、学校における健康診断について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 3

- A 健康診断は、学校保健安全法施行規則第5条第1項に6月30日までにを行うこととされており、同規則第9条に、健康診断を行ったときは、21日以内に、児童生徒等及び保護者に通知し、法第14条の措置をとらなければいけないと規定されている。健康診断の結果通知は、項目ごと又は終了した項目をまとめて通知するとともに、総合評価を学校医と相談の上、通知することが望ましい。なお、心身に疾病または異常が認められず、健康と認められる児童生徒等については、事後措置として健康診断結果を通知する必要はない。
- B 学校保健安全法施行規則第十一条において、法第十三条の健康診断を的確かつ円滑に実施するため、当該健康診断を行うに当たっては、小学校、中学校、高等学校及び高等専門学校においては全学年において、幼稚園及び大学においては必要と認めるときに、あらかじめ児童生徒等の発育、健康状態等に関する調査を行うものとする規定されている。
- C 児童生徒の発育を評価するには身長と体重の成長曲線を検討することで、座高を測定せずとも十分に補うことができる。なお、必須項目から削除された理由は、成長曲線を用いることで成長障害等の異常の発見や発育の評価を効果的に行うことができることにある。
- D 学校保健安全法第十一条により、学校は、学校教育法第十七条等一項の規定により翌学年の初めから同項に規定する学校に就学させるべき者で、当該学校の区域内に住所を有するものの就学に当たって、その健康診断を行わなければならないと規定されている。

	A	B	C	D
1	×	○	×	○
2	○	×	○	×
3	○	×	×	×
4	×	○	○	×
5	○	×	○	○

ウ．視力検査について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

4

A 視力検査の判定で、「正しく判別」とは、上下左右3方向のうち2方向以上を正答した場合をいう。

B 視力検査は、大きい視標から測定することが原則ではあるが、現場の状況など考慮し視標を1.0→0.7→0.3の順に使用することも差し支えない。

C 眼鏡やコンタクトレンズを常用している者については、裸眼視力の検査を省略することができる。ただし、裸眼視力も測定する場合は、裸眼視力を測定後、眼鏡やコンタクトレンズでの視力を測定するのが望ましい。

D 視力は出生後より発達するが、屈折異常や斜視などの種々の要因によって発達が阻害されると近視となる。

E 視標面の照度は500～1,000ルクスとする。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	○	○
2	×	○	×	×	○
3	×	×	○	×	○
4	×	○	×	○	×
5	○	×	○	○	×

エ. 聴力検査について述べた各文のうち、誤っている文を 1 ～ 5 から一つ選べ。

解答番号は

- 1 聴力検査では、まず1,000Hz 30dBの音を聞かせ、聞こえるかどうか応答させる。応答が不明瞭なときには断続音を用いて音を切ったり、出したりして応答を求める。明確な応答が得られたら4,000Hz 25dBの音を聞かせ応答を確かめる。応答は応答ボタンを押すか手を挙げるなどの合図で行わせる。
- 2 聴力検査再検査では音が聞こえたときから音量を次第に弱めていき、全く聞こえなくなった点を閾値と決めることが重要である。
- 3 「平均聴力」は500Hzの閾値を a dB、1,000Hzの閾値を b dB、2,000Hzの閾値を c dB とし、
「平均聴力」 = $(a + 2b + c) / 4$ で算出される。
- 4 耳は外耳、中耳、内耳に分かれ、外耳～中耳に原因のある場合は伝音難聴、内耳に障害がある場合は感音難聴となる。伝音難聴は多くの場合、治療や手術で改善が見込めるものである。感音難聴の大部分は治療による改善は見込めず、補聴器の装用や聴能訓練が必要となることが多い。
- 5 強大音（ヘッドホン装用等）により内耳に障害が生じ難聴となる場合があり、音響外傷という。運動会のピストル音を耳元で聞いても起こる場合がある。日常的な注意喚起による予防が大切である。

オ. 以下の図は、先天性心疾患の一つ、ファロー四徴の病態を表した図である。ファロー四徴の病態の4つの組合せで正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 6

著作権保護の観点により、図を掲載いたしません。

出典：学校心臓検診の実際 スクリーニングから管理まで 令和2年度改訂
公益財団法人 日本学校保健会
61ページ

- | | | | | |
|---|--------|-------|-------|------|
| 1 | 心房中隔欠損 | 大動脈騎乗 | 肺動脈狭窄 | 左室肥大 |
| 2 | 心室中隔欠損 | 大動脈騎乗 | 肺静脈狭窄 | 右室肥大 |
| 3 | 心室中隔欠損 | 大動脈開存 | 肺静脈狭窄 | 右室肥大 |
| 4 | 心房中隔欠損 | 大動脈開存 | 肺動脈狭窄 | 左室肥大 |
| 5 | 心室中隔欠損 | 大動脈騎乗 | 肺動脈狭窄 | 右室肥大 |

- (3) 文部科学省冊子「生徒指導提要(改訂版)」(令和4年12月)第13章多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導及び公益財団法人日本学校保健会冊子「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引ー令和3年度改訂ー」(令和4年3月)に示されている内容について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

7

- A 健康相談については、従来、養護教諭が行うものを健康相談、学校医・学校歯科医が行うものを健康相談活動と区別していたが、特定の教職員に限らず、養護教諭、学校医・学校歯科医・学校薬剤師、学級担任等が行う健康相談として整理された。
- B 学校医等が行う健康相談は、受診の必要性の有無の判断、疾病予防、治療等の相談及び学校と地域の医療機関等とのつなぎ役など、主に医療的な観点から行われ、専門的な立場から学校及び児童生徒を支援していくことが求められている。
- C 養護教諭は職務の特質から、児童生徒の心身の状況についての問題の発見者・情報収集者(アセスメント)、予防的・治療的相談者(カウンセリング)、学級・ホームルーム担任や保護者への指示者(インストラクト)、専門機関の紹介や援助資源の連絡調整役(コーディネーション)など幅広い役割の担い手である。
- D 養護教諭は、教員に向けて、保健室利用状況(疾病・けが別来室者、頻回来室者等)、健康相談結果、児童生徒の生活時間や家庭での食事状況などの心身の健康に関する調査結果などの情報提供を行い、生徒指導や教育相談を実施する上での資料を提供する。
- E 生徒指導上の課題の背景に、児童生徒の心身の健康課題が潜んでいる場合がある。そのような状況を把握するためには、養護教諭を生徒指導部会の構成メンバーとして位置付け、生徒指導主事と養護教諭との密接な連携を図ることが不可欠である。

	A	B	C	D	E
1	×	○	○	×	○
2	×	○	×	○	○
3	○	×	×	○	×
4	×	×	○	○	×
5	○	○	○	×	×

2 感染症および食物アレルギーについて、次の(1)～(4)の問いに答えよ。

(1) 学校保健安全法(平成28年4月1日施行)及び学校保健安全法施行令(令和8年4月1日施行)に示されている感染症の予防及び出席停止の指示について、空欄A～Dに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

学校保健安全法

第十九条 は、感染症にかかっており、かかっている疑いがあり、又はかかるおそれのある児童生徒等があるときは、政令で定めるところにより、出席を停止させることができる。

第二十条 は、感染症の予防上必要があるときは、臨時に、学校の全部又は一部の を行うことができる。

学校保健安全法施行令

第六条 は、法第十九条の規定により出席を停止させようとするときは、その理由及び期間を明らかにして、幼児、児童又は生徒(高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。)の生徒を除く。)にあつてはその保護者に、高等学校の生徒又は学生にあつては当該生徒又は学生にこれを指示しなければならない。

2 出席停止の期間は、感染症の種類等に応じて、 令で定める基準による。

	A	B	C	D
1	校長	学校の設置者	閉鎖	厚生労働省
2	学校の設置者	校長	閉鎖	厚生労働省
3	学校の設置者	校長	休業	文部科学省
4	校長	学校の設置者	休業	文部科学省
5	学校の設置者	校長	閉鎖	文部科学省

(2) 公益財団法人日本学校保健会冊子「学校において予防すべき感染症の解説（令和5年度改訂追補版）」（令和8年3月）及び公益財団法人日本学校保健会冊子「学校における結核対策マニュアル 令和7年度改訂」（令和8年3月）に示されている内容について、次のア・イの問いに答えよ。

ア. 以下の文の空欄A～Cに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- ノロウイルス感染症患者の吐物や便には多量の病原体が含まれているが、床や衣類に付着した後、適切に処理しなかった場合には、ウイルスを含む粒子が乾燥して、ほこり（塵埃）となって空気中を漂い、それが口から入った場合に感染する経路がある。 の一つで、塵埃感染とも呼ばれている。
- 空気感染や飛沫感染を感染経路とする感染症への対策として、換気の確保は有効である。換気は、空気の流れを創出することが重要であることから、気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに（ 分に1回以上、数分間程度、窓を全開する）、2方向の窓を同時に開けて行うことが望ましい。
- 吐物は広範囲に飛散するため、吐物の清掃時は中心部から半径 mの範囲を外側から内側に向かって、周囲に拡げないようにして静かに拭き取る。拭き取ったものはビニール袋に二重に入れて密封して破棄する。

	A	B	C
1	空気感染（飛沫核感染）	30	2
2	飛沫感染	60	1
3	空気感染（飛沫核感染）	30	1
4	空気感染（飛沫核感染）	60	2
5	飛沫感染	30	1

イ、以下の各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

10

- A 学校保健安全法施行規則にある第三種の感染症は、学校教育活動を通じ、学校において流行を広げる可能性がある感染症を規定している。第三種の感染症の「その他の感染症」は、学校で通常見られないような重大な流行が起こった場合には、その感染拡大を防ぐために、必要がある時に限り、校長が学校医の意見を聞き、第三種の感染症の「その他の感染症」として緊急的に措置をとることができるものであり、ノロウイルス感染症等一部の感染症をあらかじめ特定の疾患として定めている。
- B 小・中学校の児童生徒に対する定期健康診断における結核の検査について、過去3年以内に通算6か月以上の高まん延国での居住歴のある児童生徒は入学時又は転入時の1回、精密検査の対象とする。
- C 結核高まん延国での居住歴がある児童生徒等に対する精密検査にあたって、対象者が差別・偏見の対象になることがないような十分な配慮と、一般の児童生徒等に対して感染症への差別・偏見を持つことがないように適切な教育・指導を行うことが重要である。
- D 感染症法に基づき、学校から感染症発生の届出を受けると、保健所は集団感染が疑われる場合等に、必要に応じて積極的疫学調査を行い、感染源、感染経路の特定や感染を受けた可能性がある接触者の把握を行い、感染症のまん延防止対策を実施する。
- E 学校で麻疹や風疹、結核の患者が発生した場合等は集団感染に発展する危険性が高いため、学校の設置者（教育委員会）や学校は保健所と連携し、感染症法に基づいて保健所が行う積極的疫学調査やまん延防止対策に協力する。

	A	B	C	D	E
1	×	×	○	○	×
2	×	○	×	×	○
3	○	×	○	×	○
4	○	○	×	○	×
5	×	○	○	×	○

(3) 食物アレルギーについて、次のア～ウの問いに答えよ。

ア. アレルゲンを含む食品に関する表示については、食品表示法（平成25年法律第70号）第4条第1項の規定に基づく食品表示基準（平成27年内閣府令第10号）により特定原材料を定め、それを含む加工食品に表示が義務付けられている。

「アレルゲンを含む食品に関する表示について（事務連絡）」（令和8年4月1日消費者庁食品表示課）において、食品表示基準を改正し、特定原材料として新たに追加されたものはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

11

- 1 落花生
- 2 クルミ
- 3 カシューナッツ
- 4 アーモンド
- 5 ピスタチオ

イ. 以下の表は、令和6年度食物アレルギーに関する食品表示に関する調査研究事業報告書（令和6年9月消費者庁）からの抜粋である。空欄A～Eに当てはまる原因食物の正しい組合せはどれか。
1～5から一つ選べ。解答番号は 12

年齢群別原因食物（初発例）					
	0歳（1328）	1・2歳（901）	3-6歳（1,097）	7-17歳（491）	≥18歳（164）
1	A 61.8%	A 28.7%	B 34.5%	B 18.7%	E 18.9%
2	D 20.9%	B 19.6%	C 14.1%	エビ 12.4%	エビ 16.5%
3	E 13.1%	C 13.0%	落花生 11.6%	C 7.9%	大豆 9.1%
4		落花生 7.4%	カシューナッツ 9.2%	カシューナッツ 6.3%	
5		カシューナッツ 6.5%			
小計	95.8%	75.4%	69.4%	45.4%	44.5%

注釈：各年齢群で5%以上の頻度の原因食物を示した。また、小計は各年齢群で表記されている原因食物の頻度の集計である。
原因食物の頻度(%)は少数第2位を四捨五入したものであるため、その和は小計と差異を生じる。

	A	B	C	D	E
1	鶏卵	クルミ	イクラ	牛乳	小麦
2	クルミ	イクラ	アーモンド	鶏卵	牛乳
3	鶏卵	イクラ	小麦	牛乳	クルミ
4	小麦	牛乳	イクラ	クルミ	アーモンド
5	牛乳	クルミ	アーモンド	鶏卵	小麦

ウ．大阪府教育委員会・大阪府医師会作成冊子「学校における食物アレルギー対応ガイドライン（令和3年度改訂）」（令和4年3月）に示されている内容について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

13

- A 学校においては、緊急時に迅速な対応ができるように、各教職員の役割を明確にし、各教職員自らがそのことを理解して、習熟していなければならない。そのための方策（研修やシミュレーション）について対応委員会で検討し、実践し、担当者が不在の場合でも、他の教職員が対応できるようにしておく。
- B 学校での個別対応を希望する保護者に対し、学校は学校生活管理指導表を配付し、提出を依頼する。保護者は、学校生活管理指導表に要望を記入し、速やかに学校へ提出する。
- C 個別の取り組みプランについては、個別面談を実施した教職員が、面談調書及び学校生活管理指導表に基づき作成し、対応内容を決定して、全職員へ周知する。
- D 学校給食における食物アレルギー対応の考え方の原則では、完全除去か他の児童生徒等と同じように給食を提供するかの二者択一ではなく、安全を確保しながら、多段階の対応を行う。
- E 除去していたものを負荷試験などの結果で解除する場合は、食べられるという医師からの診断があっても、家庭において複数回、学校での最大摂取量を食べても症状が誘発されないことを確認したうえで、解除を進めるべきである。

	A	B	C	D	E
1	○	×	○	×	×
2	×	○	×	○	○
3	×	×	○	○	○
4	○	×	×	×	○
5	×	○	○	×	×

(4) 学校環境衛生基準（令和8年文部科学省告示第35号）に示されている教室等の環境に係る学校環境衛生基準について、空欄A～Eに当てはまるものを、1～5から一つ選べ。

Aの解答番号は 、Bの解答番号は 、Cの解答番号は

Dの解答番号は 、Eの解答番号は

① 換気の基準として、二酸化炭素は、 ppm以下であることが望ましい。

② 温度 °C以上、 °C以下であることが望ましい。

③ 一酸化炭素 ppm以下であること。

④ 二酸化窒素 ppm以下であることが望ましい。

A		B	
1	500	1	15
2	1500	2	16
3	2500	3	17
4	3500	4	18
5	4500	5	19

C		D	
1	24	1	0.1
2	25	2	0.6
3	26	3	6
4	27	4	10
5	28	5	60

E	
1	0.06
2	0.09
3	1.6
4	1.9
5	2.0

3 体のしくみ、疾病の管理・予防、救急処置について、次の（１）～（４）の問いに答えよ。

（１）以下の図はのどの構造である。A～Eに当てはまる名称の正しい組合せはどれか。１～５から一つ選べ。解答番号は 19

著作権保護の観点により、図を掲載いたしません。

出典：ぜんぶわかる人体解剖図
坂井建雄、橋本尚詞 成美堂出版
144ページ

	A	B	C	D	E
1	咽頭	喉頭	口蓋垂	喉頭蓋	食道
2	喉頭	咽頭	喉頭蓋	口蓋垂	気管
3	喉頭	咽頭	口蓋垂	喉頭蓋	食道
4	咽頭	喉頭	喉頭蓋	口蓋垂	気管
5	咽頭	喉頭	喉頭蓋	口蓋垂	食道

(2) 呼吸のしくみを説明している各文の空欄A～Cに当てはまる語句を、1～5から一つ選べ。

Aの解答番号は 、Bの解答番号は 、Cの解答番号は

【吸気】

が下がり、 が前方に拡張し、 が広がる。

【呼気】

の収縮に合わせて、 が持ち上がり、 は縮小する。

- 1 肺
- 2 胸郭
- 3 横隔膜
- 4 鎖骨
- 5 気管

- (3) 一般社団法人日本呼吸器学会ホームページ記載の「過換気症候群」に示されている内容について、空欄A～Dに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

肺や心臓の検査を行っても異常が認められず、何も認めないにもかかわらず発作的に息苦しくなって呼吸が速くなるような状態をきたすことがあり、このことを「過換気」と呼ぶ。この状態が続くと、呼吸がますます苦しくなり、必要以上に換気をしてしまうことで、体の が過剰に増えてしまい、 が減りすぎてしまう。ヒトの血液はちょうど中性に保たれているが、 が減ることで急激に血液が に傾き、血管の がおきる。

	A	B	C	D
1	酸素	二酸化炭素	酸性	収縮
2	二酸化炭素	酸素	酸性	拡張
3	酸素	二酸化炭素	酸性	拡張
4	酸素	二酸化炭素	アルカリ性	収縮
5	二酸化炭素	酸素	アルカリ性	収縮

(4) 血液について、以下のア～ウの問いに答えよ。

ア. 血液の成分を説明している文の空欄A～Dに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

血液を採取し、固まらないようにして試験管に入れ、遠心分離器にかけると、上下の2層に分かれる。

上層はやや黄白色がかった透明であり、下層は赤い塊である。この上の層は、血液中の液体成分で、とよばれ、フィブリノーゲン、アルブミン、グロブリンなどのさまざまなたんぱく質やコレステロールなどの脂質が溶け込んでいる。下の層は細胞成分で、その表層にはやや白っぽい層が重なっており、ここには、白血球と血小板が集まり、赤い塊は赤血球である。この血液中に占める細胞成分の割合を といい、ほとんどが赤血球であるため、赤血球の量を知るための目安となっている。

白血球をさまざまな色素で染めて観察すると、細胞内の顆粒が特殊な色素で染まるもの、染まらないものなどがあり、細胞の形を合わせて、5種類に分けられる。最も割合が高いのは、 で、次に多いのは である。

	A	B	C	D
1	血漿	HbA1c	好中球	リンパ球
2	リンパ液	ヘマトクリット	好酸球	好中球
3	リンパ液	HbA1c	リンパ球	好酸球
4	血漿	ヘマトクリット	リンパ球	好中球
5	血漿	ヘマトクリット	好中球	リンパ球

イ. 次の各文のうち、誤っている文を 1 ～ 5 から一つ選べ。解答番号は

25

1. 血液は、生体の重要な細胞外液であり、体重の約 1 / 13 を占める。
2. 血液は、血管内を循環し、体内の全器官に分配され、物質 (O_2 や CO_2 、栄養素、ホルモン、代謝産物) や体温の運搬、体液量の調節など、生体の生理的調節、生体防御および止血に働いている。
3. 白血病は小児がんの中で最も多い病気であり、発症する割合は、急性骨髄性白血病より急性リンパ性白血病の方が高い。
4. 新生児から乳児、幼児、学童期になるにしたがって、血圧は上昇し、脈拍数は多くなる。
5. ヘモグロビン量の減少により、血液の酸素運搬能力が低下した状態を貧血という。貧血の症状には、易疲労感・めまい・起立性低血圧・動悸・収縮期心雑音などがある。

ウ. けがをして血管を傷つけて血液が流れ出したときに血液が凝固するしくみを説明している文の空欄A～Dにあてはまる語句を1～5から一つ選べ。Aの解答番号は 、
Bの解答番号は 、Cの解答番号は 、Dの解答番号は

- ① 血管に傷がついて、内皮細胞がはがれ、血液が血管外に漏れ出す。
- ② 血管外の に が付着すると、 が活性化され、他の が引き寄せられてくっつく。
- ③ だけで傷がふさがらないと、血液の凝固系が活性化され、血漿中のフィブリノーゲンが分解されて になる。
- ④ が や を巻き込んで、凝血塊をつくり、傷をふさぎ、血液が漏れるのを止める。

- 1 フィブリン（線維素）
- 2 赤血球
- 3 白血球
- 4 血小板
- 5 コラーゲン線維

4 保健教育及び現代的健康課題への対応等について、次の（１）～（６）の問いに答えよ。

（１）公益財団法人日本学校保健会冊子「保健教育における個別指導の考え方、進め方」（令和６年３月）に示されている内容について、空欄Ａ～Ｅに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。

１～５から一つ選べ。解答番号は 30

小学校学習指導要領第１章総則第１の２の（３）において示されているとおり、学校における
Ａ・健康に関する指導は、児童のＢを考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活とＣの実現を目指した教育の充実に努めることをねらいとしている。特に、健康に関する指導については、児童が身近な生活における健康に関する知識を身に付けることや、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することのできるＤを育成することが大切であることが示されている。こうした指導については、Ｅに応じて、中学校や高等学校学習指導要領総則にも示されている。

	A	B	C	D	E
1	保健	家庭環境	Well-being	資質・能力	学校段階
2	保健	発達の段階	Well-being	知識・態度	発達段階
3	体育	発達の段階	豊かなスポーツライフ	資質・能力	学校段階
4	体育	家庭環境	豊かなスポーツライフ	知識・態度	発達段階
5	体育	発達の段階	Well-being	資質・能力	発達段階

- (2) 公益財団法人日本学校保健会冊子「学校保健の課題とその対応 ―養護教諭の職務等に関する調査結果から― ―令和2年度改訂―」(令和3年3月)及び文部科学省冊子「改訂『生きる力』を育む小学校保健教育の手引」(平成31年3月)に示されている内容について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

31

- A 保健教育は、児童生徒の発育・発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行われる必要がある。例えば、体育科・保健体育科、特別活動(学級活動、学校行事等)、総合的な学習(探究)の時間はもとより、関連する各教科等においても、それぞれの特質に応じて行われることも考えられる。
- B 平成29年、30年告示の学習指導要領に基づき、小学校、中学校、高等学校の各教科を通じて、学習評価については、「知識・技能」「思考・判断・表現」「総合的に学習に取り組む態度」の三つの観点に整理された。
- C 小学校体育科保健領域、中学校保健体育科保健分野、高等学校保健体育科「科目保健」の学習は、生涯を通じて自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成することを目指して学習内容が体系的に位置付けられている。小学校学習指導要領解説体育編(平成29年7月)では、「身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容」について「より理論的に理解する」としており、これらは小学校の特徴と言える。
- D 児童生徒の発達を支援するためには、児童生徒の発達の特性や教育活動の特性を踏まえて、あらかじめ適切な時期や機会を設定し、主に集団の場面で必要な指導や援助を行うガイダンスと、個々の生徒が抱える課題を受け止めながら、その解決に向けて、主に個別の会話・面談や言葉がけを通して指導や援助を行うカウンセリングの双方が重要である。

	A	B	C	D
1	○	×	○	×
2	○	○	×	○
3	×	○	○	×
4	×	×	○	○
5	○	×	×	○

(3) 公益財団法人日本学校保健会冊子「薬物乱用防止教室マニュアルー令和5年度改訂ー」(令和6年3月)に示されている内容について、空欄A～Eに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

- 薬物乱用を繰り返すと、薬物依存という病態に陥る。薬物依存とは、薬物乱用の繰り返しの結果、その薬物の使用に対する自己コントロールを失った状態といえる。薬物依存には、身体依存と精神依存がある。薬物によっては、が生じないこともある。したがって、薬物依存の必須要素はであり、渴望に対する自己コントロールの喪失といえる。
- 我が国で検挙人数が最も多い薬物は第二次世界大戦以降変わらずであり、令和4年の薬物事犯による検挙人員の総数は12,621人の内、49.8% (6,289人)が事犯で占められている。
- 令和4年における組織犯罪の情勢において、大麻取締法違反(単純所持)で検挙された者の大麻に対する危険(有害)性の認識は、「なし(全くなし・あまりない。)」が79.5%であり、大麻に危険(有害)性の認識は極めて低いといえる。また、その情報の入手先は、「」、「」が多く、年齢層が低いほど「」の占める割合が大きい傾向にあった。

	A	B	C	D	E
1	身体依存	精神依存	覚醒剤	インターネット	友人・知人
2	精神依存	身体依存	覚醒剤	友人・知人	インターネット
3	精神依存	身体依存	麻薬	インターネット	友人・知人
4	身体依存	精神依存	覚醒剤	友人・知人	インターネット
5	身体依存	精神依存	麻薬	友人・知人	インターネット

- (4) こども家庭庁ホームページに掲載されている令和6年度児童相談所における児童虐待相談対応件数(令和8年1月現在)、児童虐待の防止等に関する法律(令和2年6月)及び児童福祉法等の一部を改正する法律(令和7年10月)に示されている内容について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

33

- A 令和6年度の児童相談所に寄せられた児童虐待相談の相談経路は、「近隣・知人」が最も多い。
- B 令和6年度の児童虐待相談対応件数の虐待種別件数において、身体的虐待、ネグレクト、性的虐待、心理的虐待のうち、心理的虐待が一番多い。
- C ネグレクトには、保護者以外の者(同居人等)による虐待行為(身体的虐待、性的虐待、心理的虐待)を保護者が放置した場合も含まれる。
- D 児童虐待の防止等に関する法律第6条において、児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに、近隣の警察署に通報しなければならないとされている。
- E 児童福祉法等の一部を改正する法律において、一時保護が行われている児童に対して当該児童の保護者が児童虐待を行った疑いがあると認められる場合において、当該児童と当該保護者との面会又は通信を認めたとすれば当該児童の心身に有害な影響を及ぼすおそれ大きいと認めるときは、児童相談所長は、当該面会または通信の全部又は一部を制限することができるものとした。

	A	B	C	D	E
1	×	○	○	×	○
2	○	○	×	○	×
3	×	○	○	×	×
4	×	×	×	○	○
5	○	×	×	×	○

- (5) 「性犯罪・性暴力対策に関する政府の取組と最新の動向」(令和5年11月内閣府男女共同参画局) 及び「生命(いのち)の安全教育 指導の手引き(改訂版)」(令和8年3月文部科学省)に示されている内容について、次のア・イの問いに答えよ。

ア. 次の各文のうち、誤っている文を1～5から一つ選べ。解答番号は

34

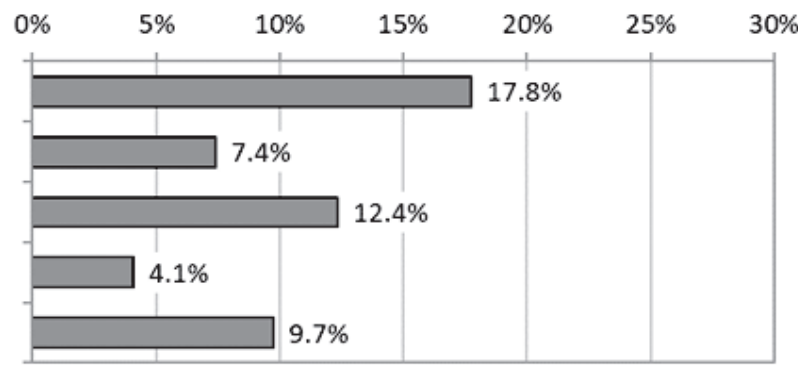
- 1 「性犯罪・性暴力対策に関する政府の取組と最新の動向」によると身体接触や性交を伴う性暴力被害の経験のある若年層(16～24歳)では、16歳～18歳(高校生)の時に最初に被害に遭ったという人が最も多くなっている。
- 2 「性犯罪・性暴力対策に関する政府の取組と最新の動向」によると、性交を伴う性暴力被害の加害者は、「通っていた(いる)学校・大学の関係者(教職員、先輩、同級生、クラブ活動の指導者など)」、「交際相手・元交際相手」、「SNSなどインターネット上で知り合った人」が多く、なかでも、「SNSなどインターネット上で知り合った人」の割合がもっとも高い。
- 3 デジタル性暴力とは、インターネットやスマートフォンなどのデジタル機器を利用して行われる性的な暴力の総称である。被害者の同意なく性的な画像を撮影・拡散したり、性的な関係を強要したりする行為などが含まれる。また、インターネットへのアクセスについては低年齢化が進んでおり、学校の判断で、高学年で取り扱っているデジタル性暴力の内容を小学中学年等にまで対象を拡げて活用することも可能である。
- 4 体はどこもすべて大切なその人だけのもの(プライベートなところ)といった、誰もが心と体が尊重されることを表す用語として「プライベートゾーン」「プライベートパーツ」がある。なかでも、おね、おしり、性器、口を指して用いられ、水着で隠れる部分と説明されることがある。
- 5 「生命(いのち)の安全教育指導の手引き(改訂版)」に記載されている「距離感」とは、自分と相手の心と体を尊重し、それぞれが心地よいと感じる距離を取ることができているかを確認するための言葉である。

イ. 以下に、性暴力被害の5分類（表1）と、「若年層の性暴力被害の実態に関するオンラインアンケート及びヒアリング結果」報告書（令和4年3月 内閣府男女共同参画局）に示された、性暴力被害の遭遇率（表2）を示している。A～Eの性暴力被害を、遭遇率が高い順に並べた場合、その並べ方として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 35

表1 性暴力被害の5分類

A	性交を伴う性暴力被害	相手の身体の一部や異物を無理やり膣や口、肛門に挿入された、避妊なしに性交させられた 等
B	言葉による性暴力被害	言葉で性的に嫌がらせを受けた、体の特徴についてからかわれた、いやらしいことを言われた 等
C	視覚による性暴力被害	相手の裸や性器を見せられた 等
D	情報ツールを用いた性暴力被害	インターネット・携帯電話・スマホなどで性的に嫌な経験をした、見たくない画像や動画を見させられた、下着や裸を撮影された、下着姿や裸の写真を送るよう強要された、なりすました相手から性的な嫌がらせを受けた 等
E	身体接触を伴う性暴力被害	体を触られた、抱きつかれた、キスをされた、相手の体を触らせられた、服を脱がされた・脱がせられた、性器を押し付けられた、体液をかけられた 等

表2 性暴力被害の遭遇率



	第1位 (17.8%)	第2位 (12.4%)	第3位 (9.7%)	第4位 (7.4%)	第5位 (4.1%)
1	E	C	D	A	B
2	B	D	E	A	C
3	D	C	A	B	E
4	E	B	C	D	A
5	B	E	D	C	A

(6)「児童生徒の自殺予防に係る取組について(通知)」(令和8年2月文部科学省)に示されている内容について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 36

- A 児童生徒の自殺は、長期休業明けの前後に増加する傾向にあり、児童生徒の尊い命を救うため、特に長期休業の開始前から長期休業明けの時期にかけては、学校として、児童生徒の自殺予防について組織体制を整え、取組を強化することが必要である。
- B 令和6年の児童生徒の自殺の原因・動機として、学校問題のうち、半数以上が学友との不和(いじめ以外)であり、もっとも多い。
- C 各学校において、アンケート調査、教育相談等を実施するとともに、一人一人に対して面談を行うなど、悩みや困難を抱える児童生徒の早期発見に努める取組を行うことが必要であるが、児童生徒の心や体調の変化や、個別の児童生徒の状況を多面的に把握することにおいては、ICTツールの活用は適切ではない。
- D 学校が把握した悩みや困難を抱える児童生徒や、いじめを受けた又は不登校となっている児童生徒等に対しては、長期休業期間中においても、全校(学年)登校日、部活動等の機会を捉えた面談の実施や、保護者への連絡、家庭訪問等により継続的に児童生徒の様子を確認する。
- E 進級・進学後に支援が途切れることのないよう、特に学校が把握した悩みや困難を抱える児童生徒や、いじめを受けた又は不登校となっている児童生徒については児童生徒の状況について丁寧な引継ぎを行い、継続的な見守り体制の構築に努めることが大切である。学校間の引継ぎについては、口頭での説明の他、書面を通じて情報共有を図ることも必要であり、指導要録への記載や「児童生徒理解・支援シート」等の活用も考えられる。

	A	B	C	D	E
1	×	○	×	○	×
2	○	×	×	○	○
3	×	○	○	×	×
4	○	○	×	○	×
5	○	×	○	×	○

5 頭頸部、脊椎の構造及びその疾病と予防について、次の（１）～（４）の問いに答えよ。

（１）頭頸部、脊椎の構造や機能について、以下、ア・イに答えよ。

ア．頭頸部及び脊椎の構造について、空欄Ａ～Ｎにあてはまる語句を記せ。なお、Ａ～Ｎには、同一語句は入らない。よって、同じ語句を複数回答した場合は、全て採点しない。

脳の一番外側は、頭蓋骨という硬い骨に包まれている。ただ脳は頭蓋骨と直接接しているわけではなく、外側から Ａ 膜、 Ｂ 膜、 Ｃ 膜（脳の表面を覆う薄い膜）という三重の膜に保護されている。 Ａ 膜、 Ｂ 膜は脳と脊髄では一体となっており、骨髄液は脳膜の Ｄ という毛細血管のかたまりなどで生成され、脳と脊髄を循環している。

脳は通常、大脳（ Ｅ 脳、 Ｆ 脳）、脳幹（ Ｇ 脳、橋、延髄）、 Ｈ 脳にわけられる。 Ｆ 脳には視床や視床下部、下垂体が含まれる。大脳は大脳縦裂を境に２つの大脳半球に分かれる。すなわち上から大脳をみると、左右の大脳半球に分かれ、さらに大脳半球は溝によって４つの大脳葉、つまり、前頭葉、頭頂葉、側頭葉、後頭葉に分かれる。

延髄から続くのが脊髄で、頭部より Ｉ 髄、 Ｊ 髄、 Ｋ 髄、 Ｌ 髄、 Ｍ 髄とよばれる。脊髄では、全長にわたって両側からほぼ等間隔に神経根（前根と後根）が出て、前根と後根はそれぞれの高さで融合して合計 Ｎ 対の脊髄神経となる。

イ．下記に示す４つの部分は、前頭葉、頭頂葉、側頭葉、後頭葉のいずれにあるか。一つずつ選んで記せ。なお、同じ語句を複数回使用した場合は、全て採点しない。

ブローカ野	ウェルニッケ野	体性感覚野	視覚中枢
-------	---------	-------	------

（２）スポーツ外傷等の後に、起立性頭痛（立位によって増強する頭痛）などの頭痛、頸部痛、めまい、倦怠、不眠、記憶障害など様々な症状を呈する疾患がある。事故後の後遺症として通常の学校生活を送ることに支障が生じているにもかかわらず、まわりの人から単に怠慢である等の批判を受け、十分な理解を得られなかったことなどの事例があるとの指摘もなされている。その疾患に関しては、教職員等の理解を深めるとともに、個々の児童生徒等の心身の状態に応じ適切に対応することが重要である。その疾患名を記せ。

(3) 以下の図は、日本スポーツ振興センターホームページに掲載されている事故防止啓発資料「頭頸部外傷への対応」である。頭頸部外傷への対応について、ア～ウの問いに答えよ。

ア. 以下の図の空欄A・Bに入る語句を記せ。

著作権保護の観点により、図を掲載いたしません。

出典：日本スポーツ振興センター 事故防止啓発資料 頭頸部外傷

イ. 呼吸の確認の際、心停止間近あるいは心停止後数分に生じる、あえぐような呼吸で、一見「呼吸がある」ようにみえて、よくみると胸郭が動いていないことがある。あえぎ呼吸や、下顎呼吸ともいわれることもある呼吸中枢機能の消失による異常な呼吸パターンであり、このような呼吸がみられた場合には、心停止と考えて、胸骨圧迫を開始する必要がある。このような呼吸の名称を記せ。

ウ. 次の文の空欄A～Cにあてはまる語句を記せ。

心肺蘇生において、胸骨圧迫は心臓マッサージと呼ばれることもあり、胸の真ん中を、
A 　く、 B 　く、 C 　く、圧迫することで、止まっている心臓に代わって全身に血液を送ることができる。人間の体の中で酸素不足に一番弱い細胞は神経で、脳に血液が流れないと数分間で壊れ始め、AEDを使用して心臓の拍動がもとに戻っても、それまでの間、胸骨圧迫を続けていないと重い後遺症が残ってしまう可能性がある。

(4) 学校において児童生徒等の校内事故を防ぐための取組みを、下記の観点別にそれぞれ2つずつ
記せ。

① 養護教諭が児童生徒等に対して行う取組み

② 学校組織として教職員全体で行う取組み

